



新宿区

『新宿力』で創造する  
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成29年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
平成29年2月14日(火)

事業名	障害者計画等の策定・障害者の地域生活支援体制の推進	予算(案)の概要 57・55 ページ
予算額	21,965 千円 (拡充) (前年度予算額 7,903千円)	
取材先	福祉部障害者福祉課長 関本 (電話 03-5273-4513)	

## 障害者計画等の策定 障害者の地域生活支援体制の推進

### 1 事業概要

障害の重度化や障害者の高齢化「親亡き後」を見据えて、障害者が住み慣れた地域で生活できるよう、障害者施策を計画的に推進していくため、次の10年を展望する新たな「新宿区障害者計画」を策定する。さらに、児童福祉法の改正を受け障害児へのサービスを計画的に確保するため、新たに「第1期新宿区障害児福祉計画」を上記計画及び「第5期新宿区障害福祉計画」と一体的に策定する。

また、平成29年度から相談体制の強化と専門性の向上に取り組み、障害者がいつでも相談でき、地域で安心して生活ができるような地域生活支援体制を推進する。

### 2 障害者計画等の策定 8,794千円

障害者総合支援法の改正（平成30年度施行）等を踏まえるとともに、障害者生活実態調査（平成28年11月実施）に基づき、障害者自立支援協議会の意見を受け、障害者施策推進協議会と審議を重ね策定する。

### 3 地域生活支援体制の推進 13,171千円

- 相談支援専門員の増配置  
「シャロームみなみ風」及び「区立障害者福祉センター」と「区立障害者生活支援センター」に相談支援専門員1名を増配置し、土日にも相談支援事業を実施する。
- 研修コーディネーターの配置  
「シャロームみなみ風」に研修コーディネーターを配置し、区内事業所向けの研修等を実施することにより、人材育成、サービス水準の向上・標準化を図る。

## 新宿区障害者計画（平成30年度～39年度）

新規策定 第1期新宿区障害児福祉計画（平成30年度～32年度）  
第5期新宿区障害福祉計画（平成30年度～32年度）

反映

国の基本指針

### 障害児福祉計画

- ①障害児支援の提供体制の整備等

### 障害福祉計画

- ①施設入所者の地域生活への移行
- ②福祉施設から一般就労への移行等
- ③精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
- ④障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた地域生活拠点等の整備



反映

障害者生活実態調査

- ①在宅の方
- ②施設に入所している方
- ③児童の保護者の方
- ④サービス事業者の方



※平成28年11月実施

## 地域生活支援体制の推進

- 強化** **相談** 相談支援専門員を増配置し、土日にも相談支援事業を実施
- 強化** **専門性** 研修コーディネーターを配置し、区内事業所全体の専門性を向上

地域生活支援体制イメージ図



